

* 保護者懇談会に先立ち、青島会長からご挨拶を頂戴し、続いて松谷薬学部長から薬学部の現状などについてご説明があった。

学生後援会2023年度役員 (略)

* 司会・庶務担当理事の赤沼先生から、2023年度役員について紹介がなされた。

課外活動に対する補助金・奨学資金援助 (略)

* 課外活動・奨学資金担当理事の田口先生から、部活動を含めた課外活動に対する補助金や奨学資金の援助についてご説明がなされた。

広報活動

広報の活動としては、令和3年度よりリニューアルした下記URLの薬学部学生後援会のホームページ管理を行っております。ホームページ上では、主に総会および保護者懇親会のご案内・ご報告等を行っております。ご質問等がございましたら、広報担当の沖津（okitsu@pha.u-toyama.ac.jp）までご連絡ください。

(新)薬学部学生後援会のホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index.html>



* 広報担当理事の沖津先生から、広報活動の子細について報告されると共に、学生後援会ホームページについてご紹介があった。

薬剤師国家試験対策 (対象:薬学科6年次生)

・第109回薬剤師国家試験

試験期日: 令和6年2月17日(土曜日)及び同月18日(日曜日)

試験地: 北海道, 宮城県, 東京都, 石川県, 愛知県, 大阪府, 広島県, 徳島県及び福岡県

合格発表: 令和6年3月19日(火曜日)午後2時

・国試対策: 国試対策は、国家試験に向けて各自でしっかりと学習していただくために、学習のきっかけをつくとともに、学習の方向性をつかんでいただくことを趣旨としています。

学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 模擬試験(5回)9日間、各模試後の解説講義5回、ガイダンス2回、講義(52コマ)13日間、弱点克服講義を含む。メディセレスクール: 模擬試験(1回)2日間

【講習会・模擬試験 (全て対面実施)】

今年度予定	内容
5月8日(月)	ガイダンス I (90分程度)
5月13日(土)	スタートアップ模試 (全員)
7月22, 23日(土・日)	ステップアップ模試 (全員)
9月19, 20日(火・水)	全国統一模擬試験 I (全員)
11月13日(月)	ガイダンス II, 対策講義 (治療)
11月16日(木)	対策講義 (実務)
11月20日(月)	対策講義 (物理)
11月24日(金)	対策講義 (衛生)
11月27日(月)	対策講義 (生物)
11月30日(木)	対策講義 (薬理)
12月4日(月)	対策講義 (薬剤)
12月7日(木)	対策講義 (法規)
12月11日(月)	対策講義 (化学)
12月14, 15日(木・金)	全国統一模擬試験 II (全員)
12月18日(月)	弱点克服講義 (薬剤)
12月21日(木)	弱点克服講義 (実務)
1月5, 6日(金・土)	メディセレ全国統一模擬試験 (全員)
1月11日(木)	弱点克服講義 (治療)
1月15日(月)	弱点克服講義 (薬理)
1月19, 20日(木・金)	全国統一模擬試験 III (全員)
2月17, 18日(土・日)	第109回薬剤師国家試験

費用*

薬学ゼミナールの国試対策一式の見積額概算は計3,442,800円で、受講者(学部生56人, 大学院生4人)一人あたり57,380円(昨年度55,246円)となります。これにメディセレ社模試の費用4,180円を加えた61,560円が学生一人あたりの合計金額です。学生後援会から一人あたり15,000円(例年実績)を支援すると、46,560円(概算)の個人支出となります。これに、国試当日のツアー参加の場合約30,000円(昨年度の金額)、講義テキスト(青本)を購入している場合はその費用約35,000円が別途追加となります。

*大学院生は支援対象外のため補助費用計算に含めていません。

* 司会の赤沼先生から、令和 5 年度における国家試験対策について、総会資料に記載の内容にて実施されたこと、および今後の計画について報告された。

TOEIC講習会およびTOEIC-IPテストの支援

TOEICの重要性

- ・英語によるコミュニケーション能力を検定する試験として広く認知されている。
- ・富山大学大学院修士課程の入試にTOEICスコアが必要である。
- ・企業等が採用時にTOEICスコアを参考にすることが多い。

1. 3つの活動内容

(1) TOEIC講習会の開催

TOEIC指導に精通したイーオン社の講師によるTOEIC受験のための学習方法の指導

(2) TOEIC-IPテストの実施

- ・団体で実施する試験であり、格安 (3,455円) で受験できる。
- ・過去問を使用した試験で、公式認定証ではなくスコアシートが発行される。

点数の有効性は一般にTOEIC公開テストと同等とみなされる。

(注) 就職先により公式認定証を求められる場合もある。

(3) TOEIC学習支援

学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員に最新の公式問題集を配布

ねらい：講習会で学んだ学習方法を理解、活用してTOEIC-IPテストを受験

→ 現在の実力を認識し、今後の具体的な目標を立てて、継続的にTOEIC／英語学習に取り組む

2. 支援対象と支援内容

- ・創薬科学科(2~4年次)：主たる支援対象
 1. 講習会受講費の支援
 2. TOEIC-IPテストの受験費(2回分まで支援)
 3. TOEIC問題集(講習会テキスト)代の支援
- ・薬学科(2~6年次)および大学院生は自己負担にて参加可能

3. 昨年(令和4年度)の実施内容

(1) TOEIC講習会

11月12日(土) (9:00~15:00) オンライン講義

2クラス(入門コースとスコアアップコース)で実施

受講者：28名(支援対象者27名 参考：令和3年度22名)

終了後にアンケートを実施し、高い評価を受けている。

(2) TOEIC-IPテスト

11月30日(水) (授業のない予備調整日) に杉谷キャンパスで実施

支援対象受験者：35名(参考：令和3年度19名)

(3) TOEIC学習支援

令和4年度の新規支援として、創薬科学科1,2年生に公式問題集8の配布を実施

支援対象者：85名

4. 本年度の計画

(1) TOEIC講習会

- 1) 実施日：11月3日(金・祝)：9:00～15:00 (オンライン講義)
- 2) 内容：2クラスで実施
 - ・入門コース：TOEICの基本的な対策 (TOEIC500点台を目指す)
速聴力を中心とした基礎力獲得のための練習法
テキストは「公式TOEIC Listening & Reading 問題集 9」を使用
 - ・スコアアップコース：TOEICの発展的対策(TOEIC700点台を目指す)
テキストは「公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8」を使用

*両コースとも、受講後はメールによる個別学習指導が受けられる。
- 3) 対象：
 - ・創薬科学科2~4年次：初参加の学生は受講料無料
同じコースに再参加の学生は、新規テキスト代3,300円のみ必要
昨年度入門コースを受講した学生は、本年度のスコアアップコースを無料で受講できる (同じテキストを使用するため)
 - ・薬学科2~6年次、大学院生：受講料 5,800円 (テキスト代3,300円+参加費2,500円)
- 4) 申し込み：10月2日(月)～10月20日(金)

(2) TOEIC-IPテスト

- 1) 実施日：11月29日(水) (授業のない予備調整日)：10:00開始
- 2) 対象：
 - ・創薬科学科2~4年次：受験費を支援 (2回分まで支援)
 - ・薬学科2~6年次、大学院生：受験費(3,455円)
- 3) 申し込み：10月23日(月)～11月22日(水)

(3) TOEIC学習支援

早期からTOEIC対策に取り組めるよう、学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員に最新の公式問題集9を配布

支援対象者：77名 (1年生：38名、2年生：39名) + 今後の追加入会者

5. 保護者の皆さんへのお願い

英語学習ならびにTOEIC対策への参加を推奨下さいますようお願い致します。

TOEICに関する近年の話題

- ・全学的な対策として、すべての1年生および3年生希望者にIPテストを実施している。
 - ・Web学習ソフト“ALC NetAcademy NEXT”を活用できる環境が整備されている。
 - ・薬学部の2年次講義科目「薬学英语」の中で、TOEIC学習指導を実施している。
 - ・大学院入試にTOEICスコアが必要となり、TOEICの重要性が高まっている。
- 学習しやすい環境が整っており、学生後援会のTOEIC対策受講により、さらなるスコアアップが期待できる。

* ご担当の千葉先生から、令和 5 年度にて現在実施中の学習支援と、実施予定の TOEIC 対策・講習会および今後の計画について報告された。

就職状況（令和4年度）

薬 学 部（113名）（就職者61名・進学49名・その他3名）

就職・進学先		学 科	薬 学 科	創薬科学科	計			
製 造 業		杏林製薬株式会社	1		1			
		第一三共株式会社	1		1			
		株式会社ツムラ	1		1			
	○	十全化学株式会社		1 (1)	1	(1)		
		株式会社日本香堂		1	1			
卸 売 業 、 小 売 業		株式会社アインホールディングス	3 (3)		3	(3)		
	○	株式会社オルタナ	1 (1)		1	(1)		
		たんぽぽ薬局株式会社	2 (2)		2	(2)		
	○	チューリップ調剤株式会社	2 (1)		2	(1)		
		日本調剤株式会社	9 (3)		9	(3)		
		株式会社マル・コーポレーション	1 (1)		1	(1)		
		みどり薬局	1		1			
		総合メディカル株式会社	3 (1)		3	(1)		
		株式会社ゆうホールディングス	1		1			
		イオンリテール株式会社	1 (1)		1	(1)		
		ウエルシア薬局株式会社	3 (2)		3	(2)		
		株式会社サンドラッグ	1 (1)		1	(1)		
		株式会社スギ薬局	2 (1)		2	(1)		
		中部薬品株式会社	1		1			
	株式会社メディカルシステムネットワーク	2		2				
	株式会社モリキ	1 (1)		1	(1)			
学術 研 究 、 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業		H.U.グループホールディングス株式会社	1 (1)		1	(1)		
		IQVIAサービシーズジャパン株式会社	1		1			
医 療 、 福 祉	○	富山大学附属病院	4 (3)		4	(3)		
	○	富山県厚生農業協同組合連合会	1		1			
	○	高岡市民病院	1		1			
	○	社会福祉法人 恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院	1		1			
	○	富山市立富山市民病院	1		1			
		飯田市立病院	1 (1)		1	(1)		
		自治医科大学附属病院	1 (1)		1	(1)		
		自治医科大学附属さいたま医療センター	1		1			
		医療法人IMSグループ（高島平中央総合病院薬剤部）	1 (1)		1	(1)		
		豊橋市民病院	1 (1)		1	(1)		
		トヨタ記念病院	1 (1)		1	(1)		
		長野市民病院	1 (1)		1	(1)		
		新潟大学歯学総合病院	1 (1)		1	(1)		
		日本赤十字社 和歌山医療センター	1		1			
		弘前大学医学部附属病院	1 (1)		1	(1)		
		山口大学医学部附属病院	1		1			
地 方 公 務		新潟県庁	1 (1)		1	(1)		
小 計			59	(31)	2	(1)	61	(32)
進 学	○	富山大学大学院総合医薬学研究科（修士課程）総合医薬学専攻		39 (19)	39	(19)		
	○	富山大学大学院医薬理工学環創薬・製剤工学プログラム		2	2			
	○	富山大学大学院医薬理工学環応用和漢医薬学プログラム		2	2			
	○	富山大学大学院医学薬学教育部（博士前期課程）薬科学専攻		1	1			
	○	富山大学大学院医学薬学教育部（博士課程）薬学専攻	2 (1)		2	(1)		
		大阪大学大学院薬学研究科博士前期課程		1 (1)	1	(1)		
		群馬大学大学院医学系研究科		1	1			
	奥羽大学薬学部薬学科		1	1				
小 計			2	(1)	47	(20)	49	(21)
合 計			61	(32)	49	(21)	110	(53)

・（ ）内数字は女子で内数。
 ・○印は富山県内就職先・進学先を示す。

就職状況（令和4年度）

医学薬学教育部博士前期課程（41名）（就職者30名・進学者11名）

就職・進学先		専攻	薬科学専攻		計	
製 造 業		アリメント工業株式会社	1	(1)	1	(1)
		アルプス薬品工業株式会社	1		1	
		アサヒグループ食品	1		1	
		イーエヌ大塚製薬株式会社	1	(1)	1	(1)
		アステラス製薬株式会社	1	(1)	1	(1)
		大塚製薬株式会社	1		1	
		小野薬品工業株式会社	1	(1)	1	(1)
		キッセイ薬品工業株式会社	1		1	
	○	協和ファーマケミカル株式会社	1		1	
		興和株式会社	1		1	
		寿製薬株式会社	1		1	
		白鳥製薬株式会社	1	(1)	1	(1)
		JCRファーマ株式会社	1		1	
	○	ダイト株式会社	1	(1)	1	(1)
	○	東亜薬品株式会社	1		1	
		日本ケミファ株式会社	1		1	
		久光製薬株式会社	1		1	
		富士フイルム富山化学株式会社	1		1	
		持田製薬株式会社	1		1	
	○	リードケミカル株式会社	1	(1)	1	(1)
	第一三共バイオテック株式会社	1		1		
	株式会社オフテクス	1	(1)	1	(1)	
金融業, 保険業		沖縄銀行	1	(1)	1	(1)
学 術 研 究 サ ー ビ ス 業 ・ 専 門 ・		株式会社ワールドインテックR&D事業部	2	(2)	2	(2)
		株式会社アールピーエム	1		1	
		株式会社新日本科学グループ	1	(1)	1	(1)
		エイツーヘルスケア株式会社	1		1	
		IQVIAサービシーズジャパン株式会社	1	(1)	1	(1)
	株式会社メディサイエンスプランニング	1		1		
小 計			30	(13)	30	(13)
進 学	○	富山大学大学院医学薬学教育部（博士後期課程）薬科学専攻	10	(1)	10	(1)
		東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程メディカル情報生命専攻	1		1	
小 計			11	(1)	11	(1)
合 計			41	(14)	41	(14)

- ・（ ）内数字は女子で内数。
- ・○印は富山県内就職先・進学先を示す。

就職状況（令和4年度）

医学薬学教育部博士後期課程（6名）（就職者6名・進学者0名）

就職・進学先		専攻		計	
		薬科学専攻			
製造業		住友化学株式会社	1		1
		日本新薬株式会社	1		1
教育・業 学習支援		カイロ大学	1		1
		ガジヤマダ大学	1	(1)	1
外国					
その他	○	富山大学和漢医薬学総合研究所 外国人客員研究員	1	(1)	1
	○	富山大学	1		1
小計			6	(2)	6
進学					
小計					
合計			6	(2)	6

- ・（ ）内数字は女子で内数。
- ・○印は富山県内就職先・進学先を示す。

就職状況（令和4年度）

医学薬学教育部博士課程（21名）（就職者21名・進学者0名）

就職・進学先		専攻	生命・臨床 医学専攻	東西統合 医学専攻	薬学専攻	計			
製造業	○ 小野薬品工業株式会社				1	1			
学習支援・ 教育	○ 国立大学法人富山大学		1			1			
	ハサヌディン大学		1			1			
	岩手医科大学				1	1			
医療・ 福祉	○ 富山大学附属病院		3			3			
	○ 富山県立中央病院		1			1			
	糸魚川総合病院		1			1			
	埼玉県立小児医療センター		1			1			
	がん研究会有明病院		1			1			
	医療法人田中病院 伊勢田中病院		1			1			
	○ 一般財団法人 北陸予防医学協会		1			1			
	新潟医療生活協同組合木戸病院		1			1			
不明		1			1				
外国	ベトナムの病院		1			1			
	未定		1	(1)		1 (1)			
	中国帰国		1			1			
	オーストラリアで就職			1	(1)	1 (1)			
その他	○ 富山大学医学部研究員		1	(1)	1	(1)	2	(2)	
小計			17	(2)	2	(2)	2	21	(4)
進学									
小計									
合計			17	(2)	2	(2)	2	21	(4)

- ・（ ）内数字は女子で内数。
- ・○印は富山県内就職先・進学先を示す。

* 司会の赤沼先生から、令和4年度に卒業・修了されたみなさまの就職状況について報告された。

その他

学生実習援助

学生実習で薬学部生全員が利用する化学実習室の実験台流し（2台）の交換修理に対して、春の総会での審議に沿って援助した。

作業実施日：令和5年8月24日（木） 援助額：314,160円

*** 本件をご担当された千葉先生から、実験台流しの改修が完了したことが報告された。**

学部生、大学院生の研究活動（令和4年度）

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第100号（2023.2）などから、学年はR4年度）

- ・令和4年度（2022年度）日本学術振興会特別研究員採用（2022年4月）
小菅 周斗（博士後期課程1年；薬品製造学研究室）【DC1】
宮西 肇（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）【DC2】
- ・ポスター賞（第19回 ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム；2022年5月）
西沖 航平（博士課程1年；薬化学研究室）
- ・永井財団大学院学生スカラシップ2022（日本薬剤学会第37年会；2022年5月）
大小原 清貴（博士前期課程2年；薬剤学研究室）
- ・学生ベスト発表賞（日本生化学会北陸支部第40回大会；2022年6月）
榊原 信太郎（修士課程1年；分子神経生物学研究室）
土手 陽世（薬学科6年；分子細胞機能学研究室）
- ・CINP – 2022 Student Encouragement Award
（33rd CINP Hybrid World Congress of Neuropsychopharmacology；2022年6月）
宮西 肇（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）
徳竹 伯洸（博士前期課程2年；薬物治療学研究室）
- ・JSNP Excellent Presentation Award for CINP2022
（33rd CINP Hybrid World Congress of Neuropsychopharmacology；2022年6月）
宮西 肇（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）
- ・5th International Conference and Exhibition on Pharmaceutical Sciences and Technology Conference
（PST2022；2022年6月）
賀 卡（博士後期課程2年；生体防御学領域）
- ・若手道場優秀発表賞（Neuro2022；2022年7月）
井城 綸沙（博士後期課程2年；神経機能学領域）
- ・ポスター賞（第5回 PhD リクルートフォーラム；2022年9月）
井城 綸沙（博士後期課程2年；神経機能学領域）
- ・令和4年度西宮機能系基礎医学研究助成基金賞（第73回日本薬理学会北部会；2022年9月）
宮西 肇（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）
- ・若手奨励賞（第57回日本アルコール・アディクション医学会学術総会；2022年9月）
楠井 優香（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）
- ・ポスター賞（第38回 シクロデキストリンシンポジウム；2022年9月）
西沖 航平（博士課程1年；薬化学研究室）
- ・Global Education Seminar Presentation Award 2022
（APSTJ Global Education Seminar 2022-1st；2022年10月）
篠崎 友亮（博士後期課程1年；薬剤学研究室）
近吉 雪乃（博士前期課程1年；製剤設計学講座）
- ・優秀発表賞（2022年度有機合成化学北陸セミナー；2022年10月）
目黒 祥大（薬学科6年；分子合成化学研究室）

- ・第43回日本レーザー医学会総会賞（第43回日本レーザー医学会；2022年10月）
石橋 直也（博士後期課程1年；応用薬理学研究室）
- ・Toyama Academic GALA 2022 優秀ポスター賞（2022年10月）
牧 俊人（博士後期課程4年；応用薬理学研究室）
桶川 晃（博士後期課程3年；病態制御薬理学研究室）
井城 綸沙（博士後期課程2年；神経機能学領域）
- ・若手優秀発表賞（第95回日本生化学会大会；2022年11月）
大沼 逸美（薬学科6年；がん細胞生物学研究室）
- ・膜シンポジウム 2022 学生賞（2022年11月）
宮島 綾梨（博士前期課程2年；生体界面化学研究室）
- ・学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第134回例会；2022年11月）
奥出 南菜（博士前期課程2年；分子合成化学研究室）
大小原 清貴（博士前期課程2年；薬剤学研究室）
山崎 航河（博士前期課程2年；分子合成化学研究室）
松田 幹望（博士前期課程2年；生体界面化学研究室）
堀 圭汰（博士前期課程1年；応用薬理学研究室）
竹田 優希（博士前期課程1年；病態制御薬理学研究室）
市川 大貴（薬学科5年；薬化学研究室）
中村 太一（薬学科5年；製剤設計学講座）
- ・「未知に挑む女性研究者賞」奨励賞
（富山大学学長賞 第6回「未知に挑む女性研究者賞」；2022年12月）
山田 果琳（博士前期課程2年；応用薬理学研究室）
- ・BCSJ award（第15回有機π電子系シンポジウム；2022年12月）
西沖 航平（博士課程1年；薬化学研究室）
- ・優秀発表賞（第96回日本薬理学会年会；2022年12月）
堀 圭汰（博士前期課程1年；応用薬理学研究室）
- ・学生優秀発表賞（口頭発表の部；日本薬学会第143年会；2023年3月）
牧 俊人（博士後期課程4年；応用薬理学研究室）
- ・学生優秀発表賞（ポスター発表の部；日本薬学会第143年会；2023年3月）
宮西 肇（博士後期課程3年；薬物治療学研究室）
董 昱卓（博士後期課程2年；和漢医薬学総合研究所 資源科学領域）
大小原 清貴（博士前期課程2年；薬剤学研究室）
筏井 佳奈子（薬学科5年；生体界面化学研究室）
中島 海斗（創薬科学科4年；薬品製造学研究室）

正会員理事・保護者様からのご要望・ご質問など

図書館のクーラー設定温度が上がったためか、暑くて利用出来なくなったと聞いております。昨年度までのように快適に勉強しやすい環境をお願いしたいです。よろしく願いいたします。

ご要望、ありがとうございました。昨今の省エネルギー・省電力が求められている状況のために、図書館の空調稼働時間や設定について例年と比して厳密に制御されております。例えば、今年度の夏場においては、設定温度が 27℃、稼働時間は学習スペースにおいては開館時間（平日 9:00～20:00；土日祝日 9:00～17:00）と厳密に設定されております。本学医薬学図書館の職員に伺ったところ、設定変更については多くの学生・保護者のみなさまからご要望を出して頂けましたら、環境調整について審議が出来る可能性があるとのことですので、続けてご意見を挙げて下さるよう、よろしく願いいたします。

同窓会の会報（？）の様なものは送付頂けないのでしょうか？入学が決まった時に前年度のものを頂いた記憶があります。

富山大学薬学部同窓会である薬窓会の会報である”遠久朶”は年に 1 回（冬の時期に）発行され、ご息様にお渡ししております。お手数をおかけしますが、会報についてはご息様と共有ください。

卒業後の進路状況について分かるものを配布頂けますでしょうか？親としては進路先がどのような状況なのかが気になります。

卒業後進路状況につきましては、直近の情報は薬学部パンフレットに加え、保護者懇談会にて配布しております資料に掲載しております。また、薬窓会の会報”遠久朶”にも、直近の年度における卒業生・修了生の進路について、一部情報が掲載されております。詳細につきましては、これら掲載の内容をご確認頂けましたら幸いです。

TOEIC は創薬 1、2 年のみではなく薬学科も対象にしてはどうか。積極的な参加を促すとありますが、今後ますます必要と思います。

御指摘の通り、TOEIC は進学や就職において必須となっており、進学率の高い創薬科学科の場合にはとくにその重要性が高いと思われます。一方、学生後援会からの課外活動支援として、薬学科の学生さんには国家試験対策を行っておりますので、TOEIC 対策を無料化することは予算の都合上、困難な状況です。両学科間の学生支援に関わる平等性の観点からも、今後も忌憚ないご意見を賜りたく、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

薬学部学生後援会が主催する TOEIC 対策講習・TOEIC-IP テストにつきましては、薬学科の学生さんも比較的安価にて受講・受験が出来ます。薬学科の学生さんにも創薬科学科と同様に周知案内をしますので、ご息様の申し込みについて、ぜひご検討を促して頂けましたら幸いです。また、薬学部では通常の講義（2 年生）においても TOEIC 対策を取り入れており、さらに富山大学本部

では全学的な TOEIC-IP テストにも力を入れております。学生後援会としましては、これらの機会と連動させて両学科の学生さんが効果的に学習を進められるよう、支援の工夫を進めて参ります。

他大学では海外薬学研究などがあるので、春休み等で語学や薬学向け短期海外研修を企画して欲しい

現在、学生後援会の方では薬学向けの短期海外研修は企画しておりませんが、本学薬学部から、すでに海外研修・留学についてのプログラムが提供されています。具体的には、春休みや夏休みの期間に米国南カリフォルニア大学 (USC) 薬学部での約 2 週間の臨床薬学研修が行われています。USC の教員による講義の受講や、現地の病院・薬局見学を通じて、日米間の医療システムや薬剤師の医療における役割の違いを学ぶことが可能です。ご息様の臨床薬学に関わる国際感覚醸成に繋がりますので、ぜひ本研修への参加をご検討下さい (本研修プログラムに参加し、所定の手続きを踏むことで、専門教育科目 (自由) ”海外薬学演習 II”の単位を獲得することも可能です)。

なお、富山大学からもニュージーランドにおける短期英語研修なども提供されております。詳しくは富山大学国際機構の web ページにも掲載されておりますので、ご興味がおありでしたら、本ページ内の「留学派遣支援」について、ご参照下さい。

富山大学国際機構

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/index.html>

大学生になると SNS やネット情報に翻弄されて集中力が低下しやすくなっていると思いますので、ガイダンス等で専門の講師による SNS 中毒予防をしてほしい

現在、情報リテラシー教育・ガイダンスなどについては学生のみなさんを対象に行われていますが、インターネット依存なども近年問題視されてきており、注意喚起は今後必要になっていくかと思えます。幸いにも、本学医学部 疫学・健康政策学講座の関根 道和 教授や山田 正明 准教授はこの点に関する疫学研究を推進しており、そのようなガイダンスにおいて講師をお願い出来る可能性があります。今後、学生後援会から学部や大学本部へ、ご息様にそのような講習が提供出来ないかを意見させていただきます。ご提案、ありがとうございました。

*** これら郵送に保護者のみなさまから頂戴したご意見やご質問に対し、赤沼先生から内容紹介と回答が行われた。また、本会に御参加頂いたみなさまから適宜質問を頂き、ご担当の先生方から回答が行われた。**

連絡事項

- 1) 富山大学卒業式： 令和 6 年 3 月 22 日（金）
- 2) 富山大学入学式（予定）： 令和 6 年 4 月 5 日（金）

問い合わせ先

薬学部学生後援会 庶務

担当 赤沼 伸乙（薬剤学研究室）

電話： 076-434-7508

E-mail: akanumas@pha.u-toyama.ac.jp

杉谷キャンパス学生相談室

担当 中野 理絵（学生生活相談員）

電話： 076-415-8810

E-mail: gakusou-s@ctg.u-toyama.ac.jp

富山大学ホームページにも各種問い合わせ先が掲載されておりますのでご覧下さい。

（ホーム>お問い合わせ一覧、<https://www.u-toyama.ac.jp/contact/inquiry/>）

*** 附属薬用植物園の紹介 DVD について、一部が上映された。希望者を対象に薬学部施設の見学会が実施された。2 つの小グループに分かれ、池田先生および岡田先生による学内ツアー（薬学部研究棟 3F 実習室、民族薬物資料館）が行われた。**